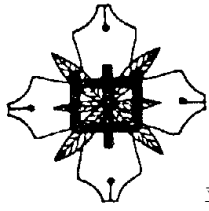


【教育目標】 将来をみつめ「学び考える力」「自他を大切にできる心」「たくましく生きる力」を育てよう



# 十中だより

平成29年2月17日 発行 第21号

発行者:中野区立第十中学校

## タンポポの話

寒い日が続いていたが、ここ2～3日は春の足音が聞こえそうな気配である。今回は春らしくタンポポの話。

タンポポは春、道端、荒地、土手など至る所に黄色の可憐な花を咲かせる雑草である。ところが、近年、タンポポの世界に異変が起きている。春に限らず1年中黄色い花を見ることができる。その傾向は都会で顕著である。

タンポポは大きく在来種と外来種に分けられる。私の子ども時分は、タンポポは春に花を咲かせる在来種がほとんどであった。しかし近年、在来種に代わって外来種が勢力を拡大し続けている。俗に「タンポポ戦争」と呼ばれる。戦争が始まったのは明治以降で、100年以上経過した現在、都会は外来種に制圧されつつある。植物学者は、外来種の「強み」「売り」について次のように分析している。



岩の隙間に咲くタンポポ

在来種は春にしか花を咲かせることができない。一方、外来種は条件さえ整えば、春に限らず夏、秋、冬の一年中花を咲かせることができる。花が咲けば種子ができる。在来種の花は小さく種子の数も少ないが、外来種の花は大きく種子は小さい。小さい種子は軽く、綿毛が遠くまで運んでくれる。また、外来種は受粉を昆虫に依存せずに自身でできる。だから、1株あればどんどん増える。さらに、外来種が在来種の花に受粉して雑種が生まれると、二分の一が外来種の遺伝子を持つ。その雑種に外来種が受粉すると四分の三が外来種の遺伝子を持つ。こうして外来種は在来種を徐々に外来種化させ、純血の在来種を減少させているという。今では外来種は帰化種と呼ばれている。

翻って、十中の「強み」「売り」は…？ 新入生説明会や保護者会等でこう述べている。

- 1つ、平成23年度に新調された標準服
- 1つ、標準服を綺麗に着こなす十中生
- 1つ、十中生を熱心に指導する教職員
- 1つ、十中を熱烈に支援してくださる保護者・地域

この真偽については、次頁の「平成28年度保護者アンケート」の結果でご判断いただけよう。

タンポポにはコンクリートやアスファルトの隙間に根付き、何度踏まれても生き続ける強さがある。十中生もタンポポのように試練に屈せず、大地に深く根を張った人生を送ってほしい。

さて、来週は都立高校1次入試、高校受験はいよいよクライマックスを迎える。83名全員に「春」が訪れるまで3年生の団体戦はまだ続く。

余談だが、タンポポの花言葉は「真心の愛」、そして「別離」。卒業までちょうど1ヶ月。

# 保護者アンケート ～ご協力に感謝申し上げます～

## 肯定率 80%以上 25項目！ 90%以上 13項目！！

「平成28年度学校教育に関する保護者アンケート」にご協力いただき感謝申し上げます。  
回収率は99%（昨年98.2%）でした。

### 1、全28項目中25項目で肯定率が80%以上

アンケート28項目の中で25項目が肯定率（「十分」と「まあ十分」の割合の合計）で80%以上となりました。特定の項目だけでなく、ほとんどの項目でこのような「高い評価」をいただき、大変有り難く思っています。教育活動を直接担っている教職員にとって大きな励みとなりました。

### 2、約半数の13項目で肯定率が90%以上

全体の半数近くの13項目で肯定率90%以上という他に類が無いような「特に高い評価」をいただきました。

- ①充実した学校生活（93.5%）、②特色ある教育活動（91.5%）、④基礎・基本の指導（92.5%）、⑥人間関係力の育成（90%）、⑪社会ルールを遵守の指導（92%）、⑫教育目標・経営方針の周知（92.5%）、⑭保護者と協力しての教育（90.5%）、⑮開かれた学校づくり（91%）、⑰子どもの安全教育（91.5%）、⑱熱意ある教育活動（92%）、⑲教職員の丁寧な対応（96%）、⑳学習・生活状況のお知らせ（95.5%）、㉓計画的な進路指導（90%）

今年は、教職員の指導や普段の姿勢に関する項目で「特に高い評価」をいただき、学校としてはこれ以上ない喜びを感じています。また、㉔の「学校は、一人一人の生徒の学習状況や生活の様子を分かりやすく伝えている」については、下のご感想欄にもありますが、定期的にお伝えしている十中独自の「学習状況」のお知らせが評価されてのことだと判断しています。

### 3、肯定率60%未満は1項目

肯定的評価が60%未満の「低い評価」は、㉕特別支援教育や発達障害等に関する保護者への説明（59.5%）の1項目でした。

この項目は、昨年より6.5ポイントアップしましたが、全項目で最低となりました。特別支援教育の意義や校内での取組等について保護者の皆さんへの説明方法について改善を図って参ります。

### 4、温かなご意見・ご感想に感謝申し上げます

今回の保護者アンケートではご意見やご感想もいただきました。今後の教育活動の質の向上に活用させていただきます。

- いつも大変お世話になっております。先生方にはいつも熱心にご指導いただき感謝しております。
- 学習状況のお知らせは、子どもにとっても保護者にとってもとても分かりやすく、今何が足りないのかを親子で共有でき自覚できる素晴らしいシステムだと実感しています。
- この学年は先生方にとっても恵まれたと思います。ほんとうに一人一人が天使のように思っていてくださっているようでした。子どもと大人の間で情緒不安定になりがちなこの時期に育てて頂きありがとうございます。
- 合唱コンクールがどの学年も一生懸命で聞いていて感動しました。今年で十中を卒業しますが、姉妹とも楽しい学校生活が送れました。ありがとうございます。

これからも保護者の皆様からいただいた評価に恥じぬよう、より質の高い教育活動を実現して参りたいと思います。どうか温かなご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 平成28年度 学校教育に関する保護者アンケート

<回収率 99%>

■ そう思う

■ やや思う

■ あまり思わない

■ そう思わない

■ わからない

満足率  
前年比

項目	満足率	前年比
1 お子様は、充実した学校生活を送っている。	54.5%	-0.5
2 学校は、特色ある教育活動を推進している。	50.5%	0.5
3 学校は、一人ひとりの生徒のよさや可能性を伸ばす教育活動を行っている。	33.5%	-1
4 学校は、生徒に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている。	42.0%	-0.5
5 学校は、生徒の関心や学習意欲を引き出す授業の工夫をしている。	33.0%	3.5
6 学校は、生徒に人とかかわったり、自分の考えを伝えたりする力を育てている。	48.0%	-2
7 学校は、健康づくり、体力づくりを進めている。	48.0%	0
8 学校は、環境問題にかかわる指導を行っている。	17.5%	-1
9 学校は、思いやりや優しい心を育てている。	34.5%	3.5
10 学校は、生徒に自他の生命を大切にする態度を育てている。	32.5%	2
11 学校は、生徒に社会のルールを守る態度を育てている。	45.0%	-2.5
12 学校は、教育目標や経営方針を保護者や地域にわかりやすく伝えている。	51.5%	-1.5
13 学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている。	34.0%	1.5
14 学校は、保護者や地域と協力しながら子どもを教育している。	47.0%	-1.5
15 学校は、学校公開等の機会や学校だより、ホームページなどで、学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている。	51.0%	-2
16 学校は、子どもや保護者の悩みや相談に応じている。	37.0%	-3.5
17 学校は、子どもの安全を守るための取り組みを行っている。	41.5%	-1.5
18 学校は、教育活動に熱意をもって取り組んでいる。	47.0%	1
19 教職員は、来校時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。	69.0%	1
20 学校は、一人一人の生徒の学習状況や生活の様子をわかりやすく伝えている。	61.0%	-0.5
21 学校は、特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明をおこなっている。	16.5%	6.5
22 学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。	37.5%	-1
23 学校は、生徒に将来に向けての生き方を考えさせ、計画的な進路指導を行っている。	51.5%	-1
24 学校は、部活動が充実するように努めている。	40.0%	3.5
25 学校は、土曜授業の実施方法を工夫するなどして、教育内容の充実にも努めている。	38.0%	0.5
26 学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、生徒に中学生になった自覚をもたせたり、自己有用感を高めさせたりしている。	44.0%	3
27 学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、授業改善に努め、生徒の学力向上、体力向上、心の教育の充実を図っている。	44.0%	2.5
28 学校は、小中連携教育のねらいや様子を、保護者に分かりやすく伝えている。	34.0%	3

合計 -12



## いざ、お台場！！～自分たちでどこまでできるか確認しよう～

1月27日(金)、1学年は「いざ、お台場！！～自分たちでどこまでできるか確認しよう～」のスローガンを掲げ、お台場方面への班行動での校外学習を行いました。

この日は天候に恵まれ、班毎に作成した行動計画表に沿って防災施設「そなエリア東京」や科学施設を見学し、災害発生時の対応や科学の素晴らしさを学びました。

当日は4月の山中湖移動教室から大きく成長している生徒たちの姿に頼もしさを感じました。道に迷ったり、切符を落としたりのトラブルもありましたが、勝手な行動をせず仲間と協力しながら解決を図り、班員同士の絆をより一層深めました。仲間の大切さや新しい魅力を見だし、思い出に残る素晴らしい校外学習になりました。

今後も様々な経験をし、そこから学んだことを生かしながら一人一人が充実した学校生活を送り、仲間とともに成長をしてほしいと思います。

校外学習担当 菅 亮太



せえーのっ！！

## 明日にチャレンジ！！

2月14日(火)、1学年ではオリパラ教育の一環としてゴールボール日本代表の高田朋枝さんをお迎えし、「あすチャレ！」と題した体験型授業を行いました。

高田さんは5歳の頃に視力が低下し、現在は明暗が分かる程度。高校の体育の授業でゴールボールと出会い、2008年に北京パラリンピックに出場し、現在は2020年東京パラリンピック日本代表を目指しています。

当日は、ゴールボールの説明、代表生徒の体験、先生方の体験、高田さんの実演と講演が行われました。

最後の講演では、視力が低下し目標を見つけれないでいた高田さんが、ゴールボールと出会い、チャレンジすることの楽しさや重要性を学んだこととお話ししてくださいました。そして、チャレンジすることで「心が強くなる」「可能性が広がる」「たくさんの人と出会う」ということを熱く語りかけてくださいました。

最後は全員で記念撮影を行いました。



ハイ、ポーズ！